

修理報告

【クラウドファンディング結果報告】

昨春秋、当社では初めてとなるクラウドファンディングの挑戦でしたが、予想を遙かに超える、凡そ一〇〇〇万円のご支援が集まりました。これほど多くの方の皆様に支えられていることへの驚きと感動とともに、心からの感謝を申し上げます。そして、御岳山に畠山重忠縁の品があることを初めて知って下さった方も多く、興味を持って下さったのは大変有り難いことと思っております。皆様からの心温まるメッセージとご支援は、形を変え、宝物を千年先へと伝える素晴らしい国宝・重要文化財専用展示ケースとなり、この三月設置が完了しました。

そして、余剰のご支援については、当初空調工事等に使用する予定でしたが、天井湿気対策工事の結果を確認のち進めることになったため、宝物を守るためでもあり、展示をよりいっそう引き立てるための、照明工事（調光・調色、回路の見直しなど）に使用させて頂きました。

まずは、しっかりとした保管と、充実した展示をお見せすることで、少しでも皆様から頂いたご恩をお返しできればと思っております。ぜひ御岳山にお越しの際はお立ち寄りください。



国宝・重要文化財専用ケース



照明工事によりベース照明・スポットライトを設置。

【国宝・赤糸威鎧／重要文化財・紫裾濃甲冑修理事業】

一昨年より始まった赤糸威鎧と紫裾濃甲冑の修理事業が三月をもって終了します。明治三十六年の大修理から、約一〇〇年ぶりとなる修理事業となります。昨年度は両鎧の古い褥とこと紫裾濃甲冑のクリーニング及び漆剥離等の修理、今年度は赤糸威鎧のクリーニングと漆剥離部分修理及び緒所の修理と紫裾濃甲冑の脇わきの修理を行いました。

特に今回赤糸威鎧の修理において、江戸時代徳川吉宗公が修理して、明治の大修理でも踏襲した脇板を取り外したことは大きなことでした。この脇板は赤糸威鎧が制作された時代には無かったとされ、重みにより鎧がよじれて歪んでしまっていたことから、本来の形に戻すことは出来るのか、変えてしまっても良いものかと悩むところでした。しかし、今回の修理にあたり文化庁をはじめ東京都・青梅市の先生方にご相談したところ、協議の上「外す」許可をいただき、外した脇板は別置保管することになりました。歪んだ癖はどうしても残りますが、新しく拵えた鎧立てで美しい姿に見えるよう工夫して下さい。また、別置した脇板は、吉宗修理の脇板とともに板に綴じ付け展示用に拵え、明治に外した古い糸も同様に拵え、機会を得れば皆様にお目にかけたいと思います。

さらに、明治の修理で修補された赤糸は長い年月により変色し、今や赤糸とは思えない状態となり大変残念に思っていました。日本茜の染色技術は伝わっておらず、長年多くの染織家たちの研究課題でしたが、近年酸性で色を抽出することがわかり、茜染が出来ようになりましたが、染料となる日本茜は雑草で全国に自生こそすれ細い根で、量を確保するのは困難であり、三年以上生育した太い茜の根は栽培する他は無く、事実上入手できず西洋茜で染める予定でした。しかし思いもかけず日本茜を栽培する団体にご協力頂く事になり、日本茜染めで緒所を新補することが出来ました。



日本茜で染めた絹糸

修理に係わられた先生方のお蔭で、立派で美しい大鎧となりました。平安期、明治の修理、令和の修理と比較して見るのも面白いかもしれません。

【宝物殿 天井湿気対策工事】

東京都・青梅市の補助金をいただき、長年懸案であった湿気対策工事を行うことが出来ました。

宝物殿は昭和五一年竣工の鉄筋コンクリート二階建てで、当時、山上まで車の走行が出来ない中での建築であったため非常に大変な工事であったと想像に難くありません。昭和四〇年頃の台風により、参道の太木が倒れた大災害があり、頑丈な建物で大切な御神宝を守ることを目的に建築されました。

当時の収蔵庫は建物全体を空気が流れるような構造、自然換気が主流だったようですが、今となっては霧が多い山上の環境では、温湿度の管理が非常に難しい構造でした。

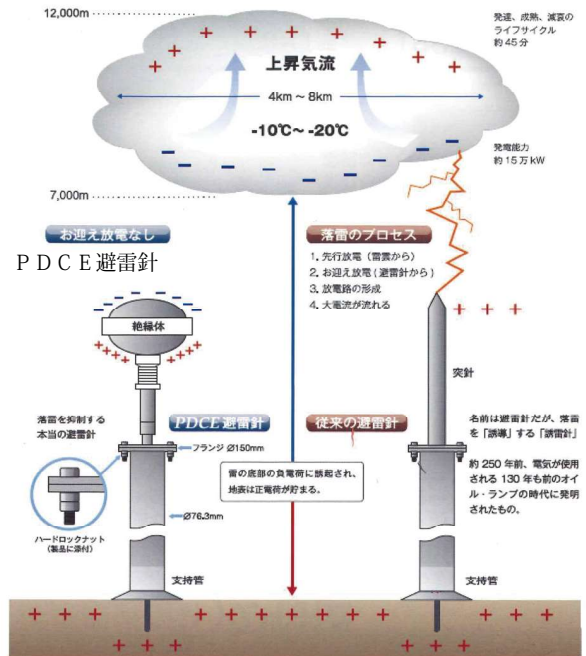
この度、高い天井裏を二重構造にし、室内からの湿気を出し、熱と湿気を外から室内に入れない板張り・断熱材・遮熱防湿シートで覆う工事をしました。今後、環境が改善されることを大いに期待します。



【避雷針更新工事】

雷が鳴ると、どの辺りで鳴っているか雲の動きが気になります。雷雲によっては御岳山は雲の中、目の前を稲妻が走り火の玉が落ちることもあります。近年特に雷の威力が増したようで、令和二年には宝物殿の防犯防災設備が壊れてしまい、国の補助を得修理した経緯もあります。昨春秋には、香川県・神谷神社の国宝の社殿が雷で火事になったという事例もありました。

今回東京都の補助を得て、新しい避雷針設備を導入します。下図のように、これまではお迎え放電を出すことにより、積極的に避雷針に雷を落とすものでしたが、P D C E はお迎え放電せず、負電極を発生させることで落雷を周囲に発生させないようにするもので、高いところに設置すれば傘のようにその中が保護されます。同時に、地中からの誘導雷による家電や通信機器の被害に対しE P フィルターを設置すると雷サージを消散処理するため被害が出なくなる仕組みです。



『EPフィルター』



最新型かつ普及し始めた最新の避雷針・避雷器です。今夏効果が出ることを楽しみにしています。

最近少しずつ普及し始めた最新の避雷針・避雷器です。今夏効果が出ることを楽しみにしています。

【大規模火災想定訓練】

令和五年二月十四日、晴天の中東京消防庁青梅消防署との合同訓練を実施いたしました。山上住民・事業所総出の訓練となりました。出火は神社、通報から初期消火、参拝者の誘導、消防署・消防団による消火、へりによる人員輸送と消火、と非常に多岐に亘る有意義な訓練となりました。

山上では水の確保が非常に大変です。防災意識を高める良い機会となり、身の引き締まる思いです。

